

平成 30 年度 第 4 回古賀市図書館協議会会議録

会議名称：平成 30 年度第 4 回古賀市図書館協議会

日 時：平成 31 年 2 月 19 日(火)14 時～15 時 30 分

場 所：古賀市役所第一庁舎 4 階第 3 委員会室

主な議題：①平成 30 年度後期(10 月～2 月)事業報告について
②今後の運営について

傍聴者：0 名

出席者：村山 美和子委員 鈴木 章委員 河村 正彦委員 久池井 良人委員
碓 幸子委員 亀川 代志子委員 諸井 ゆき子委員
以上 7 名

欠席者：1 名

事務局：4 名

配布資料：①レジュメ

②資料 1 平成 30 年度図書館事業報告(4 月～1 月)

③資料 2 平成 26 年度～30 年度 図書館の利用状況(4 月～1 月)比較

④資料 3 平成 31 年度図書館の運営方針と活動目標

⑤お知らせ 「図書館で学ぶがんシリーズ第 2 回 大腸がん」チラシ

1 開会のことば

(事務局) 古賀市図書館協議会にお集まりいただきましてまことにありがとうございます。欠席の連絡をさせていただきます。校長会代表の安部校長先生が公務のため欠席です。事務局ですが、青谷部長が公務のため欠席させていただきます。よろしく願いいたします。

資料の確認をさせていただきます。レジュメ、資料 1、平成 30 年度図書館事業報告(4 月～1 月)、資料 2、平成 26 年度～平成 30 年度図書館の利用状況(4 月～1 月)比較、平成 31 年度図書館の運営方針と活動目標、東医療センターとの連携講座、「図書館で学ぶがんシリーズ第 2 回」のチラシをお配りしております。お手元にありますでしょうか。

本日は第 3 委員会室において会議を進めさせていただきます。本会議につきましては、会議の公開制度に基づきまして傍聴席を設けております。会議の内容につきましては、古賀市のホームページ上に公開されますので、御了承いただきたいと思っております。発言されるときにはマイクのスイッチをオンにいただきましてお話しください。終わりましたら、オフしていただければと思っております。スムーズな議事録作成のために御協力をよろしくお願いいたします。それでは、開会の言葉を文化課長の力丸よりいたします。

(課長) 皆さんこんにちは。文化課長をしております力丸です。どうぞよろしくお願い申し上げます。委員の皆様におかれましては、御多忙の中、第 4 回古賀市図書館協議会に御出席いただきましてまことにありがとうございます。委員の皆様には、古賀市の図書館運営についてさまざまな御意見をいただいておりますことに、まことに感謝を申し上げるところでございます。今回、第 4 回目になりますけれども、平成 30 年度の最後の会議となります。平成 30 年度に行いました事業報告並びに平成 31 年度の活動の目標などについて御協議いた

だきたいと考えております。それでは、平成 30 年度第 4 回古賀市図書館協議会を開催いたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 会長挨拶

(事務局) 続きまして、鈴木会長より御挨拶をお願いいたします。

(会 長) 皆さん改めましてこんにちは。御苦勞様でございます。

先日ある学生から「読書は大切だと思うけれども、どうしても本に手が伸びない。」という話がありました。「公共図書館、大学図書館等にまず足を伸ばしてごらん」と言いました。例えば、私が毎回授業でやっている読み聞かせや、地域文庫の皆さんの読み聞かせの活動などは、絵本を手にとってみるという意味ではとても大事です。きっかけ、タイミングをつくると、本に手が伸びるのではないかなと改めて思いました。

今日は先ほど言われましたように、今年度のまとめ、そして来年度の方針、方向について協議していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 協議等

(1)平成 31 年度前期(4 月～1 月)事業報告について

(事務局) 協議に入ります。ここからは鈴木会長、久池井副会長に進行をお願いいたします。

(会 長) それでは、進めさせていただきます。今日予定しているのが、平成 30 年度後半の事業報告、今後の運営ということでありまして。また、その他ありましたらということを進めさせていただきます。事業報告について、事務局お願いします。

(事務局) 資料 1、平成 30 年度図書館事業報告(4 月～1 月)を御覧ください。10 月から報告をさせていただきますと思っております。

10 月 7 日、子ども図書館員を行い、市内の小学校 1 年生から 5 年生まで 6 名が参加しました。子ども達は最初緊張していましたが、図書館の見学、返却ポストを内側から見たり、カウンターで貸出しや返却をしたり、利用者からも声かけをしていただき、積極的に臨んでいました。この体験が今後の図書館利用につながると思います。

10 月 26 日から 28 日、図書館まつりを実施しており、平成 30 年度で第 24 回を数えております。3 日間を通じてブックリサイクル、ことちゃんぬりえコンテスト、展示、本の楽しみ貸出袋などを行っております。

「読書の木」は今年初めての取組で、葉っぱ型に切り抜いた色画用紙に利用者おすすめの本を書いてもらって、閲覧室に掲示しました。多くの方が参加してくださいまして、大きな木になったところです。

日替わりのイベントとしまして、26 日に「ブックカバーづくり」、27 日に「どうようおはなし会プラス」、夏の講座で養成しました古賀市中学生読書サポーターによる小学生向けおはなし会を実施しております。

10 月 27 日、読書講座「九州の文学者たち 2018」と題しまして、西日本新聞社編集局社会部次長の塚崎謙太郎さんに、文化部で出会った九州在住または九州に縁が深い作家の方についてお話いただき、34 名来ていただいております。

10月28日、「図書館で落語会」、宗像落語会の粗忽家 酔書（そこつや よいしょ）さんにおいでいただき、落語2席に紙切りということで、楽しませていただきました。参加申し込みも多く定員オーバーで71名参加いただいております。落語の図書館資料も案内しましたが、早速借りて行かれた参加者の方もいらっしゃいました。

図書館まつりの土日は特に多くの方に図書館を御利用いただき、1日1,000人以上の来館があり、3日間で3,077人の入館者がありました。いろんなイベントを行うことで、図書館に足が向いて本を手にとっていただけるように事業を行っているところです。

11月3日に、平成30年度に引き続き、「ビブリオバトル in 古賀市立図書館」を行っております。高校生を含む6人のバトラーさんが読んだ本との出会いや内容について、観覧者に語り、1番読みたくなったチャンプ本を決定するゲーム型の本の紹介です。質問タイムもあり、それぞれの作品やバトラーさんの人柄に触れ、温かい雰囲気の中で実施することができました。バトラーさん観覧者含め16名の参加でした。

12月26日に小学生向けおはなし会を行いました。手遊び、クイズも織りまぜながら季節の本を読みました。8人の参加がありましたが、なかなか小学生おはなし会の参加人数が増えないのが課題だと思います。

2月2日、子ども向けの事業としてナイトミュージアム&ライブラリーを歴史資料館との連携で行っております。フナバル王子を救い出すミッションをクリアしていくゲームで、図書館では、本の中からヒントとなる本を探し出して「ふなばる」という言葉を浮かび上がらせるというようなことをしております。職員も黒いマントで身を隠しながら灯を落として行ったところです。10組50名の参加で、今年で3年目になりますが、とても人気の取組で、申込がすぐにいっぱいになっております。

2月9日、「第50回古賀市親子読書のつどい」は50回を迎えておりまして、歴史ある取組になっております。10時から12時まで行い、内容につきましては、市内小学校からの読書体験作文発表、本から広げた劇や朗読などの発表を行っております。後半は九州女子大学非常勤講師の鈴木研先生をお招きし、親子読書の始まりから読書会活動の高まり、家読（うちどく）まで、お話をさせていただいたところです。ブックトーク、読書クイズなどもしていただき、楽しいひとときを持つことができております。大人150人子ども100人、合わせて250人の参加がありました。

2月17日、暮らしの講座「野菜づくりのコツと裏ワザその4」を、農山漁村文化協会の佐藤圭さんをお迎えして行っております。この講座も3年目となり人気の講座で、57人の参加がありました。今回はホームセンターなどのお店や農協、コスモス広場などにもチラシを持っていくなど集客に努めたところです。図書館の蔵書と絡めてのお話もしていただき、資料の紹介をすることができました。参加者が多くの資料を借りて行かれたところです。そこまでが今までの活動報告になります。

加えて申しますと、23日に東医療センターとの連携のがん講座、3月にお休みを8日間いただき蔵書点検、3月の終わりには小学生向けおはなし会を予定しているところです。

月例行事、4月から1月までの参加人数を右にお示ししております。年齢に応じたおはなし会、名画会など、たくさんの方に参加していただいております。

ブックスタートは子育て支援課と連携しながら、絵本の読み聞かせ、親子で本を読むことの大切さについてお話をしております。親子で541人の参加がありましたけれども、配布数は子育て支援課が把握しているため不明とさせていただきます。

セカンドブックの配布については3歳児健診会場で配りましたが、480人中396人、多くの子ども達に渡すことができいております。年度途中ですが、今のところ83%お渡しできているところになります。

その他の行事です。子ども映画会は平成29年度まで月例行事として毎月開催しておりましたが、参加人数が少ないということで、平成30年度から長期休みを中心に開催し、1回の上映に多くの子ども達が参加してくれるように見直しを図っております。1回の平均参加数が平成29年度は14人に対し、平成30年度は29.2人と、回数を絞りましたが平成30年度のほうが多くなっております。

平成29年度から実施しております学校図書館市民開放用一般図書の配布については、2月までに各学校へ2,934冊となっているところです。

九州産業大学との連携事業のpepperの取組は、前回報告させていただいております。

12月9日、古賀市人権のつどい「いのち輝くまち古賀2018」で、人権センターと連携し「親子でほっこりいのちのおはなし会」を実施しております。今回は心が温かくなるような絵本、笑顔になれるような絵本を選び、ボランティアさんと読み聞かせリレーをしました。今回は人数が少なくて4人という結果になっております。

古賀市まちづくり出前講座については、平成29年度から第3次古賀市子ども読書活動推進計画策定に伴い始めております。平成29年度は1件の申し込みがありましたが、現在はまだお話をいただいております。

星印がついている事業は、古賀市介護支援課が行っております古賀市高齢者外出促進事業の対象イベントというところで実施しております。以上が事業の報告になります。

次に資料2、平成26年度～平成30年度 図書館の利用状況（4月～1月）比較表をお配りしているところです。4月から1月までの貸出冊数、貸出人数、入館者数、新規登録者数を一覧にしております。平成29年度と比較しますと残念ながらすべて減少しているところになります。図書館内でも、何とか図書館に足を向けていただくように話し合いをしておりますが、なかなか社会情勢の波もありまして、難しいかなという状況になっております。市民の皆さんのニーズを探りながら事業を実施し、事業の周知のためにホームページ、フェイスブック、チラシなどの配布にも努めておりますが、5年前と比較しても、減少はとめられない状況かと思っております。以上が平成30年度1月までの報告になります。

(会長) ありがとうございます。資料1について、10月から説明いただきましたので、何か御質問、御意見等ありましたら出していただければと思います。一つ一つ丁寧に説明していただきましてありがとうございます。はい、碓委員さん。

(碓委員) 12月2日日曜日の子どもわくわくフェスタのおはなし会に、古賀市中学生読書サポーターの子ども達が来てくださって、ありがとうございます。とてもよかったので、また引き続きしていただきたいと思っております。

以前に小学生リーディングリーダーの企画が3年間あって、そのときにも参加していただいたんですけども、とってもよかったので、3年間で終わってしまったのは残念だと思っております。日曜日にリーパスプラザに子ども達を連れてくるのに、司書の先生か親御さんが責任を持たれるのかとか、いろいろ難しい問題があるかもしれないけれども、せつ

かく子ども達を読み聞かせの練習をして、とても上手に発表ができるので、そこをクリアして何とか続けていただけたらと思います。よろしくお願いします。

(会 長) 事務局何か、いいですか、今の件で。

(事務局) 平成 30 年度は、初めて古賀市中学生読書サポーターがお邪魔しまして、おはなし会をさせていただいたところです。平成 31 年度も引き続きできたらいいなと考えているところです。

(会 長) 事業内容については、若干人数が減った行事もあるかもしれませんが、本当に着実に進めているなということがわかるのではないかなと思いますね。月例行事についても、平成 29 年度より増えているものと減っているものいろいろあるようですが、これも本当にしっかり定着しているなということがよくわかりますね。これらのことも含めてありましたら、はい、どうぞ。

(副会長) 先日、野菜づくり講座を受講したんですが、やっぱり定員以上に人が集まっていますね。非常に人気があるのと同時に、図書館側も積極的に図書館以外のお店などに PR をされたということは非常によかったのではと思います。図書館によっては、農業支援や農業に関するコーナーを特設しているところもあるんですね。普段図書館に来られない方もいらっしやるような講座であれば、その方々にぜひ、これをきっかけに図書館に親しんでもらうためにも、常設も含めてそのようなコーナーが何かあればと思います。

反面、私は、ビブリオバトルは非常にいいと思いますが、人数的には定員 50 名なのにこの人数で、やっぱりハードルが高いんですね。参加して自分の意見を言おうと思わないと、フラットは行けない、だから少し仕掛けがいるなと思います。「集まってください、やります」だけじゃ、足を運ぶのに躊躇するとか、軌道に乗るまでは「引っ張ってくる」と言うとなんですけれども、支援する方をもっと募ったほうがいいと思います。発表する方はもちろんですけども、それを支える側も、何とか声をかけるということが大事じゃないかなと思いますし、図書館協議会委員の方々もぜひ中に入ってってもらえば、より良く盛り上がるかなという感想を持ちました。人数は少ないんですが、やめてもらいたくないなと思っておりますので。

(会 長) 今回、私も参加しました。今言われた野菜づくり講座など、市民の皆さんの意識、興味関心が高くなっている分野に合わせてあったら、それが人数にもあらわれてくるわけです。ビブリオバトルについては、レベルは確かに高いので、そのあたりは非常に大事なことだと思うし、子ども達も含めて何か対象者の幅を広げていながら、工夫するとまた違ってくるんじゃないかなと私も思います。

(村山委員) ビブリオバトルについてですが、平成 30 年度も参加しましたがけれども、とても楽しく、おもしろかったです。ぜひ続けていただきたいなと思います。

今、学校でも、学級でまずビブリオバトルをして 1 番を決め、校内でその人たちが発表するようなことをしているところが結構多いんですね。学校で代表になったようなお子

さんに来ていただいて、第1弾でビブリオバトルの簡単なものを行った後、大人の部を行うと、参加したおうちの人も、第2弾の大人のバトルを聞いたらおもしろかったというふうになればいいんじゃないかなと思いました。

今勤めております学校にも、ビブリオバトルのトーナメント表をどのクラスも貼って頑張っております。代表のお子さんは、自分の言わなければならないことを暗唱されて、ビブリオバトルに参加しておられる方は、評価されるのでちょっときついなあと思います。

しかしながら、観覧者はバトラーさんに質問すれば、おっしゃったことのさらに深いところでの御返事があり、感銘するようなどころもございます。それで、広く古賀市だけではなく他の地域からも、そういう方を集めていただいて、ぜひいろいろなお話を聞かせていただきたいなあと思います。

もう一つ、第50回古賀市親子読書のつどいに参加いたしました。3回目です。多目的ホールで行うという形に、年々お慣れになって、スムーズに劇なども行われていて、よかったなあと思いました。小さいお部屋での読み聞かせであれば、早口で小さくても聞こえるんですけども、ホールでしたので、聞こえづらいところもあってちょっと惜しいなど。マイクを意識してお子さんが発表されたらよかったかなと思いました。

後半の鈴木先生のお話で1番驚きましたのは、子どもに話して、大人に話して、また子どもに話してというようなことを、工夫してなさっていました。大変わかりやすく、勉強になりましたし、子ども達もちゃんと聞いておりました。

あのお話の中で、「母と子の20分間読書」のやってきたあたりが、私が小学生の頃で、大変懐かしい気持ちになりました。古賀市ではあの流れに沿って綿々と取組が行われてきて、今も続いているということがわかりまして、誇らしい気持ちになりました。これをやはりさらに推進していくべきじゃないかなと思います。

またもう一つあのときに、私がびっくりしたことは、私が花見小学校が開校した時に勤務しておりました頃、6年生1年間だけ花見小学校で学習した子どもたちがおりますが、その中の1人が、花見小学校の保護者として子どもを連れて参加しておりました。花見小学校のお母さんで、もう40歳ということでした。私たちが一緒に勉強してきた子ども達が花見小学校を卒業し、いろいろな仕事についた後、また花見小学校に子どもを入れて親子読書の活動に協力している、そのようにして子どもを育てているということが何かすごくうれしく思いました。それで「いい子が育つように頑張らなければなりませんね」とお母さんに申し上げました。今のこの状態でいろいろ判断すると、非常に寂しい気持ちになるようなデータが多いですけども、そうやって、受け継いでいる人たちがいるということがわかって、その人たちを大切に、さらに、このような図書館の取組を続けていくべきではないかと思いました。以上です。

(会 長) すばらしい話をありがとうございます。小学校で親子読書を体験した子どもが親になって、引き継いで推進している事例を言われました。本当に大事なことですね。たまたま花見小でしょうけど、ほかの小学校でも当然あったと思いますけれども。

(亀川委員) 私は保育所に勤めております。ブックスタートとセカンドブック配布に関して、先日、対応している3歳児のクラスですけども、保護者の方は3歳児健診の時に絵本をもらえると知っていて、とても喜んでいらっしゃいます。「昨日もらったよ」、「こんな

絵本だったよ」というのを教えてください。そこでもらった本がとっても良くて、絵本とふれあうスタートの場所になっており、配付された絵本を大切にしているそうです。

この取組はとっても良いなともう随分前から思っていました。3歳児健診には、仕事の都合や、保護者の関係もあり、なかなか全員行くわけではないのですが、「ぜひ行かれてください」ということを伝えています。まずは行って、そこで出会った本がとても大切なものになればいいなと思っています。先ほどの、ずっとつなげていくという中の最初のブックスタートから始まっていて、これから先がとても楽しみだなと思いました。

(会 長) 頂いた絵本を大切にすることが思い出にもなりますし、心の支えになるということですね。小さなことかもしれませんが、そういったことがブックスタートの意義でもあるわけですから、今後も続けていきたいところですね。ありがとうございます。ほかにもございますか。いろんな例で大事なことを指摘していただいておりますので、感想でも結構でございます。河村委員さん。

(河村委員) 今、村山委員さんからいろんなお話があって、長期的な視点の大切さと言えるようなことがまとめにあったと思うんですね。私も、今この協議会に参加して大体5年たつわけですが、社会全体を見ると、情報技術の進展によってある意味もう細切れというか目まぐるしい変化、進歩と言えるかどうかわからないような、ある意味ではこれまでの人間性を否定してでも社会の変化が続くようなところが一方であります。

この図書館協議会でいろいろお話を伺って、私達は、読書活動やいろいろな図書館の活動に関して、目先の短い期間の成果だけにとらわれてはいけないのではないかということを感じています。例えば、活動の評価に関しては、短期的に1年2年であらわれなくても、子ども達や人々にとって、何十年のスパンで、深く静かに浸透している部分がいっぱいあるんじゃないかと思います。前も申しましたように、図書館協議会に出て初めて、目を見開くほどの活動をされているのを知りました。

例えば、ここの委員さんでもあったある方が、子どもの読み聞かせ活動をもう40年単位でされているわけですね。その方とたまたま読書会であるお店で会合開いていたら、その若い青年がその方に向かって「あの本を読み聞かせをしてくださった、おばちゃんですね」と声をかけるんですね。今りっぱな青年になっているその子が、長い時間の隔たりの後、何十年ぶりに読み聞かせをしてくれた委員さんに会って、言葉をかけてくる気持ちですよね。私は、今いろんな意味で大切な活動が展開されていることを、短期的に良い悪いと評価するだけでなく、もっと長期的に必ず影響というか効果を及ぼすプログラムがたくさん続いてきていると思います。逆説的に、そういうことも大事だなあと最近感じています。

(会 長) 短期的な目線、評価も大事なこともあるけれども、一方、長期的な目線、評価という観点で物事を考えて、あせらずにということですね。しかし世の中、非常に進むのが早いので、いろいろ課題はあるんですけども、一方、じっくり取り込んだことは、きっとゆくゆく出てくるということではないか、教育の世界でもいつもそう思います。「そのときにわかった」、「わからない」だけじゃないということを見なきゃいけないのではないかということ、聞きながら改めて思いました。諸井委員さん。

(諸井委員) 私は図書館まつりがすごく大人の方にアピールするのに良いのではと思います。ほとんど本に関心のない人と話をしても、「図書館まつりがあるよ」と言うと、一応見たりとかされます。ですから、もっと図書館まつりのポスターをあちこちに貼っていただいたら良いと思います。内容もある程度書いていただいて、今年度の落語のように、アピールするものを出していただいて、次の時も、そういう感じで出してもらったらいいんじゃないかと思います。

(会長) ポスター、いろいろな広報などで、ぜひアピールをしていただきたいと思います。ちなみに第24回なんですね。

(河村委員) 今、「図書館まつりがなかなか良い」というお話が出ましたが、私は図書館まつりの中の、10月27日の読書講座「九州の文学者たち」に参加し、意外と面白かったです。

というのは、いわゆる文壇の中央の文学者関係の話だけではなく、地方において、そんなに脚光は浴びなくても、何十年単位で作家として同人誌を続けていらっしゃる方、その方が病気で亡くなられるわけですが、その方に直接取材をされて、九州のそんなに有名ではないが志の高い文学を志す人々の裏話や生き方が聞けました。

僕は、これはここでしか聞けないような話だと思いました。普通の本を読んでも、東京のNHKを聞いても、それは全国版ですね。地方にも、いわば埋もれかけながらも、やっぱりこう脈々と続いているという。最近、私は直接評価されなくても、底流として脈々ときちんと続いているものの大切さを最近すごく感じるようになりました。それを感じさせてくださったのがこの読書講座でした。そういう意味で、別な見方、場面に触れたような気がして、私はとても楽しかったです。ありがとうございました。

(副会長) 私も読書講座を受講しました。読むときの視点や作者の考えに改めて気づかされ、なかなかいい取組だと思いました。古賀市外で文学事業に関わっている方も来ていらっしゃいました。地元でこれだけ良い講座が開催されていますから、いろんな方に聞いてもらいたいと思いました。このような啓発活動を図書館が行われるのも一つ大事な活用ではないかなと思っています。

もう一つ、図書館まつりに関して、「本のお楽しみ貸出袋」というのがありますね。私は最終日に行ったとき、司書の方が本のお楽しみ貸出袋の前で来館者の方に勧めていらっしゃいました。私は「積極的だな」と思い、尋ねると「実は借りる人があんまりないんです」と非常に残念そうでした。私は、袋をあけないとわからないということと、持って帰る手間暇もあって手に取らない方もあると思いました。図書館まつりの一つの展示としては、非常に良い効果や雰囲気を出したのではと思います。確かに貸出数は少なかったかもしれませんが、全く無意味ではなかったと思っています。どちらかといえば、図書館の方のそれだけの熱意を逆に私は非常にいい意味で見せてもらいました。

4月にあった「ぬいぐるみおとまり会」の参加者も少なかったということですが、この取組も面白いんですね。おもしろい取組でも残念なことに結果に結びつかない場合があります。だけどそれでめげないで、いろんな手を加えて、ぜひすそ野を広げていただきたいと思います。よかったところ、感想でございました。

(会長) 私は、古賀市の図書館まつりは時間、日にちが合わず来られなくて、宗像の図書館まつりに行きました。そちらでは、本の貸出袋の売れ行きが奪い合うように盛況で、PR、アピールすれば、待っていても来るということを改めて思いました。

先ほど、いわゆる地方のすぐれた作家や文化人を掘り起こすような講座のお話がありまして、魅力ある企画、講座をされるというのはとても大事だなと思いました。工夫を凝らしていくことで集まってくるといいますか、来ていただけるんじゃないかなということは改めて思いました。そういう意味で図書館まつりのさまざまな企画、もう第24回になりますけども、楽しみにしている方が市内、市外からもいらっしゃるとい話をされましたので、良いんじゃないかと思います。

では、資料2、図書館利用状況について、若干、平成30年度は少ないかなということをおっしゃいましたが、何かありましたら、碓委員さん。

(碓委員) 去年の夏は猛暑でしたが、貸出人数を見ると、6、7、8、9月で1000人ずつ減っています。たぶん暑さのせいだと思います。私は車を持たないのでバスで出かけますけれども、去年の夏、一度タクシーで帰ろうと思ったら、皆さん猛暑でタクシーを使われたみたいで、1台もタクシーがないような状態でした。

今、公の施設だけを回るコミュニティバスはあるんですけども、各地域、山のほう、米多比、薬王寺から公共の施設に行ってくれるコミュニティバスを、1日も早くつくっていただきたいと思います。

(会長) コミュニティバスは図書館のあるリーパスプラザこがは経由して回っているんですか。

(館長) リーパスプラザは経由していますけれども、コミュニティバスは公共施設間だけなんですよね。一番上の方はひだまり館、コスモス館ですね。それから、市役所。

(碓委員) 市役所まで来て、乗せていただくことはできるんですけども、家から公共施設、市役所までとか。ひだまり館、コスモス館は米多比から近いですけども。

(会長) なるほど。猛暑だからむしろ図書館が涼しいから来るかなと思ったけれども、来るまでが大変、来るまでに倒れちゃうというような状況ですからね。

(碓委員) 本当に倒れそうでした。

(会長) 加えてどうぞ。

(碓委員) 親子読書についてです。親と子で、家で20分を読書するというのが親子読書の基本で、こういった親子読書のつどいの発表会はそれに付随したものなんです。それを深めるために、図書館に来た若いお父さんお母さんが絵本をたくさん借りておられるところを見ると、おうちで絵本の読み聞かせをされているんだなと思ってうれしく思います。

おはなし会に参加したときには、終わりにシールがもらえるんですけども、おはなし会

に来た人だけだし、毎週来ていないとなかなかシール帳がいっぱいならなくて残念な感じがするんですよね。例えば、本を借りに来たときにもシール帳みたいなのがあって、年間でこれだけ借りましたとか、何回図書館に足を運びましたというのが1年間で記録として残ると、親御さんの励みになるんじゃないかなと思います。

ずいぶん昔に、年間貸出最多賞みたいなのを発表されていましたが、こういう発表もあるんだと思いました。子どもに特定して、1年間たくさん借りた親御さんの表彰をするとか、何かそういったものがあると親の励みになるんじゃないかなと思います。なかなか大人になると人から褒められることがないものですから、もしそういうことがあると親御さんの励みになるんじゃないかなあと思います。シール帳にシールがたまると結構うれしいものです。

(会長) 本の貸出数だけ言うと、功も罪もありますけれども、一つの励みになるというのは確かですね。

今日は、直接的な話題にはなっていませんけれども、古賀市子ども読書活動推進計画の件について、私たち協議会も考えていくんですよね。まちづくり出前講座の中の関係でも申し込み者無しということですけども。結構この関連のことをお話をしていますからいいと思いますが、そういったことにも、今一度我々の協議会としても今後も話題にしていかなければいけないということを思いました。古賀市子ども読書活動推進計画の内容、進捗状況等々について、皆さん何か気になっているとか、あるいはここはすごいなということが、もしあれば結構ですがありますでしょうか。もともとの議題には最初からしていませんでしたので、急に言って申し訳ないんですが、なければまた今後ですね。

もう一言言い忘れたということがございましたら、どうぞ。

(碓委員) むいぐるみおとまり会の件ですけども、もし参加人数が少ないというのであれば、大人にも募集かけたら、参加したいなと思います。最近、むいぐるみを連れて旅行に行って、カフェなどで自分のむいぐるみの写真を撮ってインスタグラムに上げるということもはやっていますので、割と若い女性の方とか、お母さんとか大人もうれしいと思いますから、受けるかもしれません。よかったら大人に募集をかけてください。

(副会長) お母さん方も個人ではなかなか行けなくて、例えば保育園、幼稚園とかのお母さんたちのグループ、仲間だったら行くんですよね。野菜づくりの講座のときにチラシを持って店に行かれたと言われましたよね。保育園、幼稚園がやっぱり1番の窓口じゃないかなと思います。なかなか1人で申し込むというのは行きにくいのではと思います。

古賀市子ども読書活動推進計画に関してですが、この間、宗像ユリックスの図書館に行ったら、2階に宗像市の学校図書館の取組状況のパネルが設置してありました。古賀東小学校は文部科学大臣表彰を受けていらっしゃいますが、どのような取組をされているか、具体的なことは知りません。常設でなくてもいいから、古賀市立図書館でも、1階で地域文庫のパネル展示会展示がしてあるように、学校図書館の取組やお互いの学校の紹介、良い意味での自慢をしたら、それを見るために子ども達も関心を持って図書館に来たり、保護者の方も来られたり、もっとお互いに交流して、読書に関する興味関心も高まるんじゃないかなと思いました。

(会長) 宗像ユリックスの図書館の2階には、小中学校の図書館の紹介を、司書教諭あるいは司書さんたちの編集のもと、写真や説明を模造紙1枚程度にまとめて、定期的に入替えて常設してあり、それぞれの学校の様子を知ることができます。古賀市でいうと地域文庫の紹介などもあると思いますが、小中学校も含めて、広げていくのも、場所の問題もありますけども、広がっていくといいますか、自分の学校、うちの文庫、うちの子ども達、地域の方が展示してあるということが、伝わって広がっていく一つの大事なきっかけじゃないかと思いますね。ありがとうございました。

(2) 今後の運営について

(会長) 次に、平成31年度図書館の運営方針と活動目標について、触れてみたいと思います。資料がございますので、事務局に説明をお願いいたします。

(事務局) 平成31年度図書館の運営方針と活動目標の用紙を御覧ください。図書館の運営方針を3つあげておりますが、これは古賀市立図書館の根幹ですので、毎年これに沿ってというところで変えていないところです。平成31年度の活動目標は、次の6つをあげております。

○古賀市立図書館移転開館25周年記念事業及び各種講座の実施。

昔、JR古賀駅前に古賀町立図書館がありました。平成6年度に現在の場所に複合文化施設「サンフレアこが」ということで図書館が移転開館してから25年となります。平成31年度は25周年記念事業をメインに、イベントや講座を実施したいと考えているところです。現在、有名文学作家のトークショー、サイン会、利用者に使っていただく図書館バックの作成等を考えているところです。今後、話し合いながら取組を精査していきたいと思っています。この機会をきっかけにして、読書していただき、まだ図書館に足を踏み入れてない方がどんどん来てくださったらいいなと思っています。

○市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンスサービス（情報提供）、「暮らしの講座」「医療講座」の継続や障害者サービスの充実。

先ほど利用状況を見ていただきましたけれども、利用者が減少している現実があります。市民のニーズあるいは地域の課題を図書館員が感じ、受けとめながら、講座、あるいはサービスに努めてまいりたいと思っています。障害者、あるいは高齢者、外国の方への配慮、サービスにも努めていきたいと考えております。

○郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供実施。

これは数年来目標としてあげているところになります。古賀市にしかない資料を収集し、提供することは古賀市立図書館でしかできないというところになります。収集にあたりましては、市役所の他課と連携、周知し、協力を仰ぎながら、「本無いですか」とか聞きながらやっているところです。市民の方にも協力を得ながらやっていけたらと思っています。

○「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進。

先ほど鈴木会長からも言われましたように、「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」を平成29年度策定したところです。その計画を踏まえて、今、いろんなところと連携した

読書活動の推進を考えているところです。図書館協議会の中で進捗状況を管理していただきながら進めてまいっておりますが、平成 31 年度も引き続きお願いしたいなというふうに思っております。

平成 30 年度は、各関連課の進捗状況の調査ということだったんですけれども、平成 31 年度は学校、幼稚園、保育園、読書ボランティア団体にも調査対象を広げまして、実施したいと考えているところです。もちろん図書館でも、各種おはなし会、子ども映画会、セカンドブック、子ども読書の日イベント等もありますので、引き続き行っていきたいと思っていますところです。子ども向きの講座では、平成 30 年度も行いましたえいごのおはなし会、プログラミング教室など、新しいことも取り入れながら検討をしていきたいと思っていますところです。

○福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との総合ネットワークの活用。

福岡県内の公共図書館あるいは国立国会図書館との総合ネットワークを活用し、資料の相互貸借を行い、古賀市立図書館にない資料でも取り寄せ、読書を楽しみ、調査研究を進めるための資料を提供していくとともに、図書館に必要な情報を受け取り、図書館運営に生かしていけたらいいかなと思っていますところです。

○学校図書館における市民開放用一般書の配本及び読書ノートの配布等による読書活動支援。

第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画に関連しますけれども、あえてここに学校図書館との連携を上げております。子どもの読書について、古賀市の子ども達がほとんど通う学校図書館との連携が、読書活動の推進を行う上で大切なことではないかと思っています。読書や学習に必要な団体貸出しはもちろんのこと、小学校 1 年生への読書ノートのおはなし会、あるいは中学生読書サポーター養成講座などを引き続き行っていく予定としております。また、学校図書館における市民開放用一般図書の配本、これは教育総務課、学校教育課と連携して進めてきたところですが、引き続き取り組んでまいりたいと思っていますところです。以上が平成 31 年度図書館の運営方針と活動目標というところになります。また先ほど久池井副会長がおっしゃいました図書館窓口業務委託については今調査研究を進めており、図書館の開館時間延長につきましても研究をしているところです。以上です。

(会長) 元号が変わる 5 月には事業計画がでると思います。その前にこの基本的な方針、目標が提起されましたので、これについて何かありましたら。先ほど言われた窓口の業務委託、開館時間については検討中で、追ってお話があるようですので、今日のところはそれについては協議しません。

運営方針、目標については大変具体的なことも加えてお話がありましたけれども、このことについて何かありましたらどうぞ。平成 31 年度は 25 周年事業をする年度であるということをおっしゃいましたね。トークショーやサイン会なども考えられるそうですけれども、6 項目の目標があります。方針については多分良かろうとは思いますが、もし目標等で、お気づきあるいは御意見ありましたら。

(淀委員) 赤ちゃん連れとか小さい子連れのお母さん達は、絵本は子どもと一緒に選べるけれども、ご自分の本を選べないんですね。そのような時に、図書館の方が「静かにしてくだ

さいね、走らせないでくださいね」ではなく、お母さんがご自分の本を選ぶ間、「ちょっとお子さんを見ていませうか」とか、「絵本を読んでいませうか」とか、一歩進んだサービス、お声かけをしていただけるとありがたいなと思っています。

私はすぐに人に声をかけてしまうんですけども、歴史小説のところとかにおじいちゃんがおられたりすると、「この本面白かったですよ」って言うんですけど。「余計なことを」と子どもに怒られるんですけども。前は古本屋さんで本を探していたら高校生がミステリーばかり探していたので「これ読んだことある？」とかつい言うんですけど。邪魔にならない程度にということで、もしカウンターで立っている方が何人かあって、もし時間があれば、本を並べるついでに、「何かお探しですか」とか、そういった一歩進んだサービスをしていただけたらもっと何か楽しい図書館になるんじゃないかと思います。

そして最近書店で本の並べ方がジャンルを超えた展示、例えばお料理の本であれば、料理の作り方の本の横にお料理が出てくるような小説とか、時代小説と一緒に並べてあるんです。そのような魅力的な展示を工夫されると、図書館の変化に富んだ面白さが出てくるんじゃないかなと思いました。

(会長) どうぞ。

(事務局) お子さん連れのお母さんの話が出ておりますけれども、実を言いますと、今日初めて「リフレッシュ読書タイム」が行われておりました。つながり広場で登録されている、福津市のボランティアさんから図書館にお話をいただきました。子どもさんをお預かりして、お母さんたちがゆっくり図書館で本を借りられるように、午前中2時間程度で開催されたそうです。図書館としては、「親子で一緒に今後利用していただけたらいいね」というところで、「チラシ等は図書館に置きますので」という話をしておりました。申し込み制ということで、今日は5人の方が利用されたと後でお話を伺いました。そういうこともぼちぼちボランティアさんの活動で広がっていくのかなと思っています。

(碓委員) とてもいい取組だと思います。何月何日にボランティアさんがおられるならば、「どうぞおいでください」というような表示を図書館の中にも、特に絵本コーナーなどに大きく表示して、知ってもらうことが大事です。そういう取組をぜひ大きく宣伝して、すぐにわかるようにしていただけたらと思います。

(会長) 私は2番目のところで、市民のニーズに対応した図書館運営やサービスがとても大事になってくると思います。市民のニーズの中で、後半にあります障害者サービスの充実、障害を持った方々にかかわるメディア類の充実に取り組んでいくことがここに掲げられていることに関心を持ちました。少ないメディア類の中でも、図書館の中でこういったものを置いておく、あるいはPRしていくのは、とても図書館の姿勢としていいなと改めて思いました。ほかに何かございましたら、よろしいですか。

5月の図書館協議会で事業の年間計画が出ると思いますので、そこで具体的にお話が進みんじゃないかなと思います。今日のところはここまでよろしいですか。ありがとうございました。それでは、協議事項については、一応基本的にはここまでです。

(3)その他

(会長)

その他ということで、皆さん方で何か、これについて協議してほしいというものがもしありましたら、出していただければと思いますが。なければ、事務局のほうで、用意されていると思いますが、よろしいですか。お願いします。

(事務局)

事務局から3点お願いします。1点目、黄色いチラシに「図書館で学ぶがんシリーズ第2回大腸がん」と書いております。2月23日土曜日、ぜひお出でいただけたらと思っております。7月に一度計画したんですけれども、講師の先生の都合により延期しております。東医療センターの外科部長、緩和ケア医療室長の大賀先生に来ていただきましてお話をさせていただきます。なかなか聞けない話が聞けるんじゃないかなと思いますので、おいでいただけたらと思っております。周りの方へも勧めていただけたらと思っております。

2点目です。会議録の校正について御協力をお願いします。今回は、諸井委員さん、それから、碓委員さんをお願いしてよろしいでしょうか。よろしくお願ひしたいと思ひます。事務局から議事録を送付させていただきますので、校正が終わられましたら、署名しまして、事務局まで返していただければと思ひておひります。ご多用な中ですが、よろしくお願ひいたします。

3点目です。次回の開催日についてですけれども、5月の終わりに毎年させていただいておりますので、それくらいにお願いしたいと思ひます。5月21日火曜日、あるいは5月24日金曜日にどうかと思ひておひりますが、調整のほうよろしくお願ひいたします。

(会長)

ありがとうございました。二つのイベントの件、議事録校正の件、よろしいでしょうか。最後に言われました次回の開催、年度が変わりますけれども、5月21日火曜日の同じ時間、または24日金曜日ですが、御都合の悪いと思われる方、おられましたら言ってください。

(河村委員)

できれば、21日火曜日のほうが良いです。

(会長)

21日が良い。ほかによろしいですかね。私も21日のほうがいいですね。いいですかね火曜日の方で。

今回の協議会は今年度最後ですが、積極的な御意見、御感想、内容のあるお話をいただくことができ、私も、会長として進めて充実した会になったんじゃないかなと思いますので、また今後も期待していきたいと思ひます。今後とも、こういった協議会を進めていきますのでどうぞよろしくお願ひします。終わりたいと思ひます。後は事務局のほうにお渡しします。

(事務局)

鈴木会長、久池井副会長、議事進行どうもありがとうございました。本当にいつも温かい御意見や御感想を事業に対していただきまして、本当にありがたく思ひているところです。これからも、来年度25周年がありますので、力をあわせまして、取り組んでまいりたいと思ひているところです。

8 閉会のことば

(事務局) 最後に閉会の言葉を図書館長の梅谷よりいたします。

(館長) 本日は入館者数の報告などもさせていただきました。古賀市の場合は右肩下がりになっておりますけれども、やはり、できるだけ最初会長が言われましたように、図書館に足を向けるきっかけづくりをしていきたいと思っております。今日は貴重な御意見ありがとうございました。それではこれもちまして平成 30 年度第 4 回古賀市図書館協議会を終了させていただきます。どうもお疲れさまでございました。

(会 長) ありがとうございました。